

城北防災だより

2023/2/24

56号

城北地区防災対策協議会
事務局：城北地区公民館

春の全国火災予防運動(3月1日から3月7日)がはじまります！！

今年の全国統一防火標語は、『お出かけは マスク戸締り 火の用心』です。これからは火災が発生しやすい時期になります。

戦後では国内最大級の火災となった「鳥取大火」(1952年4月17日)も、この時期に発生しました。鳥取市吉方の市営動源温泉付近から出火し、フェーン現象による強い南風の影響で火は瞬く間に燃え広がり、旧市街地の3分の2を焼き尽くしました。

近年でも、毎年全国で約1000人の方が、火災によって亡くなっています。その半数が「逃げ遅れ」によるものです。

また、亡くなった方の約7割を65歳以上の高齢者が占めています。住宅火災の発生や逃げ遅れを防ぎ、いのちを守るために、日頃から取り組むべき「住宅防火いのちを守る10のポイント」～“4つの習慣”と“6つの対策”～を、消防庁は推奨しています。

城北地区は家々が隣接し、ひとたび自宅で火災が発生すると、火元となり近隣に損害を与えてしまい、大変なことにもなりかねません。

みんなで“火災に強いまちづくり”に取り組みましょう。

【火災を防ぐ4つの習慣】

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



【命を守る6つの対策】

- ①ストーブやこんろ等は、安全装置の付いた機器を使用する。
- ②住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換(電池)する。
- ③部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使用方法を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備える。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

【住宅用火災警報器の点検方法】 正常な報知器は？



【火災発生データから】

令和3年度中に、全国で35,222件の火災が発生しています。このうち、建物火災が19,549件となっており、建物火災のうち、住宅火災の割合が55.9パーセントとなっています。

また、火災における死者数は1,417人、そのうち住宅火災での死者数(放火自殺者等を除く。)が966人となっています。

住宅火災を防ぐための、上記のポイントのチェックをご家族でお願いします。